ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

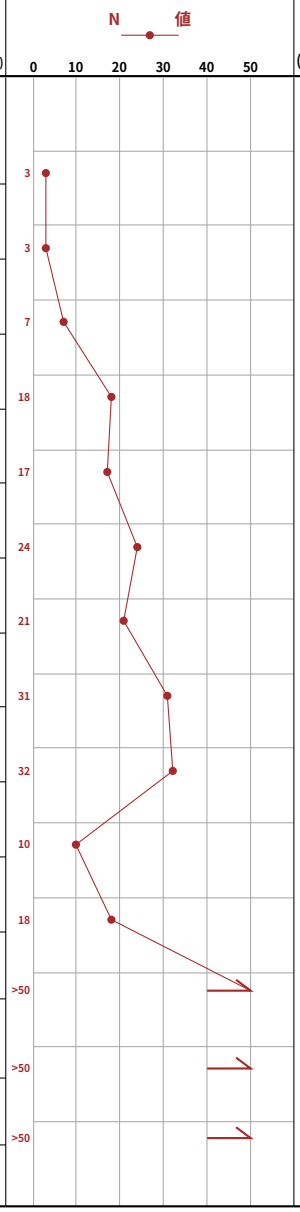
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-1	調査位置				北　緯	36 ° 22 ' 10.0000 "
発 注 機 関	栃木県栃木土木事務所			調査期間	2008-01-26 ～ 2008-02-05	東　経	139 ° 37 ' 42.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	55.74 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	14.31 m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	55.34	0.40	0.40		シルト混り礫 (G-M)	暗褐			盛土材　φ10～40mmの角礫混入		
1					粘土混り礫 (G-C)	茶褐	非常に緩い		φ10～40mm亜角礫主体 φ60mm点在 礫間は粘土分を多く充填する		
2	53.64	1.70	2.10								
					シルト混り砂 (S-M)	灰褐			細砂主体　φ10mm礫・シルト混る		
	53.14	0.50	2.60								
3					粘土混り砂礫 (GS-C)	灰褐	緩い		含水中～上位　φ10～40mm礫散在 風化礫混入		01/29 3.80
	51.94	1.20	3.80								
4					粘土混り砂礫 (GS-C)	暗緑灰	中ぐらい		間隙多くルーズ、固結度低い 崩壊性大、上部褐色帯びる 全体に粘土分混入、所々 φ50～70mm礫混じる -5.3m以深暗緑灰、粘土分含有増す φ80mmの頁岩質礫点在 目視で礫7：砂2：粘土1位の割合 不均質な粒度塑性 地下水面下含水多くルーズで崩れ易い 礫は角片、礫種は頁岩、チャート等が多い 細砂充填し部分的に粘土多く混じる 目視礫率70%位 -10m付近より、含水多く粘土含有量多く混じる		
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
	44.14	7.80	11.60								
12					粘土混り砂礫 (GS-C)	茶褐	非常に密な		φ5～40mm位の角礫主体に φ100mm前後の角片を含む 風化礫含み、礫間は粘土で硬く密に充填し、強風化岩相を成す 礫種は頁岩、チャート等で、風化し褐色化する 目視粒度組成は、礫6：砂2：粘土2位である		
13											
14	41.43	2.71	14.31								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1	1	3／30	3
1.45					
2.15	1	1	1	3／30	3
2.45					
3.15	1／20	6		7／30	7
3.45					
4.15	6	6	6	18／30	18
4.45					
5.15	3	5	9	17／30	17
5.45					
6.15	6	9	9	24／30	24
6.45					
7.15	10	5	6	21／30	21
7.45					
8.15	10	11	10	31／30	31
8.45					
9.15	13	11	8	32／30	32
9.45					
10.15	4	1	5	10／30	10
10.45					
11.15	5	6	7	18／30	18
11.45					
12.15	28	22		50／20	>50
12.35					
13.15	16	16	18／6	50／26	>50
13.41					
14.15	24	26／6		50／16	>50
14.31					



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
2.15	1-1	A	物理的	
2.50				
3.15	1-2		物理的	
3.45				
4.15	1-3.		物理的	01/29
4.45				
6.15	1-4		物理的	
6.45				
				01/30
				01/31
				02/01
				02/02